

現代社会を揺るがす欲求～不倫の元凶～

宮城県仙台第三高等学校

○背景

世の中に絶えず起こり続ける事件などはその内容に目が行きがち(テレビ等のメディアが結果のみを報道している)

しかし

そこで問題となるのは、事件の結果ではなく「**事件の原因**」は何かではないか。また、何が人を犯罪に駆り立てているのだろうか。

○目的：犯罪防止の新たな観点とすることを目的として、近年重要性が認識されつつある**メタ認知**と、**欲求**、犯罪等の関連について文献研究及び、**メタ認知**の有用性を調べる実験を行った。

○方法：上記「目的」で述べた通り、様々な調査を行い、フローチャートや図を作成して問いに関する理解を深め、考察していく。

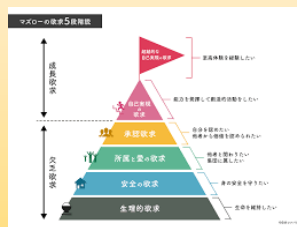
○結果・考察

私たちはその原因が「**人間の欲求**」にあるという結論に至った。様々な事件に対し、様々な欲求が複雑に関連していることが分かった。



その欲求の問題を昨今問題となっている「**不倫**」について絞って考えてみる。一般的に考えられる原因は、性的欲求や金銭的欲求などであるが、自己愛者においては**承認欲求**に含まれる「**自尊心欲求**」の不健全な働きも原因としてあげられる。心理的基盤としての自尊心が健全な自己愛であるのに対して、高い自尊心を維持すること自体が目的なのが、不健全な働きである。

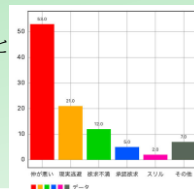
<健全な自尊心>



<不健全な自尊心>



○考察 私達は、事件、とりわけ不倫と欲求の関連性を調査することで「メタ認知」という行動療法に注目した。メタ認知とは、過去の自身の行動の問題点を見直すセルフモニタリング、そして今後どのように行動を修正するか模索し、改善していくコントロールという2つの段階を踏んで客観的な視点から当事者自身に事件を把握、改善させることである。近年、科学的根拠から国内でも採用され始めている。また、私達が独自に、一般学生100人を対象とした身近な問題に関するメタ認知の有用性を調べる実験を行ったところ、68%の学生から、メタ認知が問題をより重く考え、反省する意識を向上させる働きがあるというデータを取得することができた。加えて、メタ認知の欠落が犯罪・非行へ直接影響を与えることも実証されており、今後の社会において精神的アプローチの軸として「メタ認知」を確立することが急務であると私達は考えている。



○参考文献

- 『満たされない自己愛』大淵憲一 ちくま新書
- 『立ち直るための心理療法』八幡洋 ちくま新書
- 『「承認欲求」の呪縛』太田肇 新潮新書
- 『犯罪者・非行少年の処遇におけるメタ認知の重要性』大江由香 亀田公子